



森のなかま

2015年10月号

NO. 90号 (継続235号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL 046-280-4101・FAX 046-280-4102

第14回『やどりき水源林のつどい』が開催！！

平成27年8月15日(土) (8/14準備)



しずくちゃん と かなりんちゃん
今年も登場しました。

< 写真／写真キャプションは

内野ミドリさん9期と赤崎さほりさん12期に提供および協力頂きました >

【「やどりき水源林のつどい」が、平成27年度も盛大に開催されました】

今年は曇り日で逆に猛暑日を回避でき、多数(500名超え)の皆様に参加頂き、とても賑いのある集いとなりました。午前、19年の成長の森、林道コース、周遊道Bコースの水源林内のトレッキング、森林癒し体験と水生生物観察が主で、午後からは、式典、森のコンサート、スイカ割り等のあと、各ブースでの森林交流会となりました。恒例となった、「かなりんちゃん」と「しずくちゃん」の“ゆるキャラ”の登場もあり、子ども達には、大好評でした。また、メディアの神奈川新聞にも、8月16日付紙面で大きく採り上げて頂きました。

主催 県民との協働による森林づくり実行委員会

公益財団法人かながわトラストみどり財団、神奈川県、
神奈川県森林組合連合会、神奈川県木材業協同組合連合会、
神奈川県山林種苗協同組合、神奈川県森林協会、連合神奈川、
神奈川新聞社、湘南リビング新聞社、南足柄緑の少年団、箱根みどりの少年団、
NPO 法人かながわ森林インストラクターの会

共催 松田町

協賛 神奈川県内広域水道企業団



神奈川新聞に掲載されました。

前日準備(9:00~15:00)

滑りやすい斜面の
苔を取りながら掃除



成長の森コースの
案内板設置・確認



トレッキング経路の沢に
アルミの橋をかける



休息所のテント・
椅子の組み立て



流れ作業で来場者に
配布するグッズの袋入れ



第一陣 バス到着 ⇒ 会場へ ⇒ 希望コース確認 (9:00~9:30)

インストラクタースタンバイ OK

ゲートにバスを迎えに



バス到着

最初のバス到着



総合案内所

希望コースや成長の森 No. の確認



広場にお客様 続々到着

いよいよ開始です。
トレッキングコース区分チェック



トレッキング等のコース (10:00と11:00の2回スタート ~12:00)

・成長の森コース(平成19年の一部)・林道コース・周遊道Bコース・森林癒し・水生生物観察

森林癒やし

- 森林浴で心と体をリフレッシュ
- ★樹冠の揺らぎと「ほほをなでる風」を体験。森の「おもてなし」は心地良いですね



水生生物観察

- 寄沢に住む水生生物の観察
- ★子ども達の人気は何といても、水生生物



成長の森コース

- 平成19年度の成長の森づくりで植樹した木々の成長した姿を見るコース
- ★木々がどの位成長したか楽しみ!



林道コース

- 沢沿いの林道を歩くコース
- ★ゆっくり散策、森の中は気持ちいいね!



周遊道Bコース

- 歩きながら木々や草花を観察する、植生豊かなコース
- ★葉っぱの香りや感触を楽しみながら散策



開催あいさつ 昼食 森のコンサート (12:00~13:00)

昼食

ご挨拶

主催者、共催者、来賓の皆様



草笛合奏

草笛名人と
すっかりマスターした子供達

お囃子

寄祭囃子と
弥勒寺祭囃子保存会の皆様

昼食の合間に

・けん玉 ・共振羽根 ・ロケットラン



森林交流会等 (13:00~14:00)

人気のスイカ割り



野点



手作りグッズと森のクラフト ⇒ 緑の募金



丸太切り

(疑似間伐体験)



平成27年度 森第2回ブラッシュアップ研修会 (公財)かながわトラストみどり財団主催

「1. 新しい国民に祝日「山の日」について」 「2. 山で役立つロープワーク実習」

平成27年8月30日(日)10:00～15:00、場所 かながわ県民センター304会議室、参加者50名

< 記 柴 俊男 11期 >

(写真、データ提供 (公財)かながわトラストみどり財団 古館様)

1. 新しい国民に祝日「山の日」について

講師:全国「山の日」協議会顧問 成川隆顕氏

祝日として制定された経緯や「山」全般の話 環境の保全、森林づくり、山地の防火、水源涵養、登山、登山道の整備、アウトドアライフ、健康づくり、観光、等画像を交え有意義な話後に質疑応答

講義中の
成川氏

「山の日」をつくろう 運動時の一部から

日本は山の国です。古くから日本人は山に畏敬の念を抱き、森林の恵みに感謝し、豊かな自然とともに生きてきました。山の恩恵は溪谷の清流を生み、わが国を囲む海へと流れ、深く日常生活とかかわりながら、人々の心をも育んできました。わが国の文化は、「山の文化」と「海の文化」の融合によってその根幹が形成されたといわれます。



国民の祝日として「山の日」を制定することを求める日本山岳会、日本勤労者山岳連盟、日本山岳会、日本山岳ガイド協会、日本ヒマラヤアドベンチャートラスト、をはじめとする全国「山の日」制定協議会加盟諸団体や既に「山の日」を制定していた地方自治体、その他山岳関係者や自然保護団体等からの意見を受け、2013年4月、超党派の議員連盟「山の日制定議員連盟」が設立された。2013年6月30日に山の日制定議員連盟が開いた総会にて、6月上旬、海の日の翌日、お盆前、日曜日を祝日とする案の中から、盆休みと連続させやすい利点があるとしてお盆前の8月12日を祝日とする案が採用された。しかし、8月12日は日本航空123便墜落事故と同日のため、最終的に8月11日を山の日とすることを決定した。日本の祝日の数は16となり、2016年から8月11日が「山の日」となる。制定記念の全国集会が来年(2016年)に上高地で開催することが決まっている。

2. 山で役立つロープワーク実習

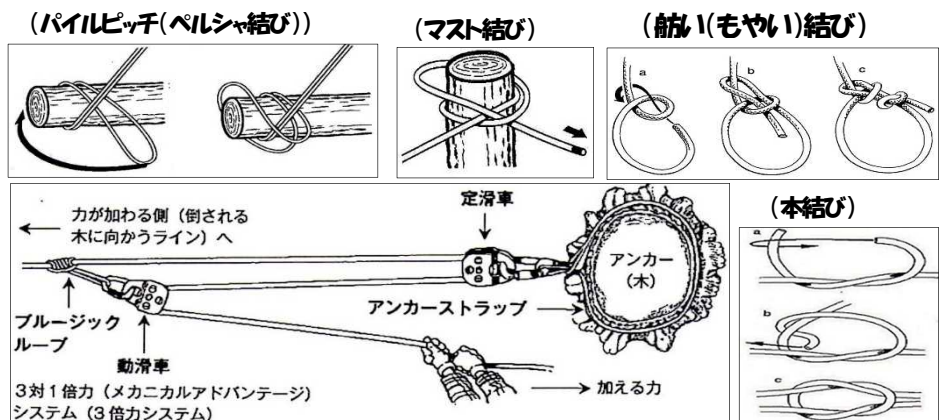
講師:(公社)日本山岳ガイド協会理事 武川俊二氏 (我が会 かながわ森林インストラクター6期生)

森林インストラクターの為のロープワーク講座で掛ける、結ぶ、繋ぐ、を参加者全員に配布されたロープを使い、必要な結び方を覚えようの基本(もと)・パイルヒッチ結び・マスト結び・舐い(もやい)結び・八の字結び・本結び・自在結び・引き上げ法、など多くの結び方を参加者に丁寧に指導いただき参加者同士も教え合い有意義な時間でした。今後も技術の質向上のため多くの人の参加を望みます。



(1/3引き上げシステムの机上実演)

(1/3引き上げシステム)



“次回ブラッシュアップ研修は 12/5(土)間伐研修、塚原ボランティア林 です。”

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

第10回 植木のかおりのもと、精油が含まれる量は？
香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

木の葉や材を細かく砕きそれに蒸気をあてると葉や材に含まれているにおい成分が蒸気とともに飛び出てきますが、これを冷やすと液体状のにおい物質を得ることができます。この液体状の物質を精油といいます。英語ではエッセンシャルオイルです。精油がそれぞれの木のおいとなり、木の特徴を表しているという点ではまさに木のエッセンス、すなわち本質のような成分です。精油は無色であったり淡黄色であったりで、きれいな液体ですが、実はこの中には数多くの成分が含まれています。精油は多くの化合物の混合物なのです。

精油は木の葉、幹、枝、花などの各部位に含まれています。クスノキのように葉、幹、枝のいずれにも精油含量の高い木もありますが、葉に最も多く含まれている場合が一般的です。近くにある木の葉を1枚採ってちぎってみてください。さわやかなにおいがするはずです。なかには臭みのある嫌なにおいのするものもありますが、どうでしょうか、においがしたでしょうか。そしたらまた、その隣にある違う木の葉のにおいをかいでみてください。木が無ければ、草でもハーブでもよいでしょう。先ほどのものとは違ったにおいがするはずです。においの強さも違うことでしょう。それは木の種類、草の種類によって含まれている成分が違い、その量も違うからです。鼻をつく強いにおいを持つものもあれば、ほとんどにおいのしないものもあります。

木の葉に限れば針葉樹のヒノキ、スギ、ネズコ、ヒバなどは精油含量が多いグループに属し乾燥重に対して2~4%(葉から水分を除いた重さに対するパーセント)の精油を含んでいます。国産の樹種で最も多く精油を含んでいるのは北海道に分布しているトドマツで、この木の葉は8%含んでいます。これはオーストラリア原産で精油含量の高いことで知られ、精油が香料原料や殺虫剤などに使われているユーカリに匹敵する量です。トドマツの葉をちぎるとヤニ臭い強いにおいがします。しかしトドマツの材にはほとんど精油が含まれていません。木の

部位によって精油含量は大きく違います。

材の精油含量は葉に比べると少ないのが一般的でヒノキやスギでも葉に含まれる量の3分の一から10分の一程度です。ただ、精油の量だけでにおいの強さが決まるわけではなく、においの強い成分が含まれていると少量でも強いにおいがしますので、精油含量と匂いの強さは必ずしも一致しません。



ユーカリ

同じ針葉樹でもカラマツ、イチイ、カヤなどの葉には精油はほとんど含まれていません。

カヤの材は碁盤などに使われますが、良いにおいがするので古い時代には仏像に使われていました。カヤの場合には葉ではなく材の方ににおい成分が多いのです。

スギ、ヒノキなどの針葉樹に比べて広葉樹の精油含量はどうでしょうか。クスノキ、ヤブニッケイ、タブノキなどのクスノキ科の樹木、シキミ科のシキミなどのように精油含量の高い樹種もあり、クスノキのように蒸留で樟脳油を採取する木もありますが、広葉樹は針葉樹に比べて精油含量が低いのが一般的です。カシ、シイ、クヌギ、アセビなどにはほとんど精油は含まれていません。これらの葉ではさわやかなにおいはしません。

(イラスト 広報部 大塚 晴子)

活動短信



フリーイラストより



今回の掲載は
7/11～8/9です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

暑風至(7/7～7/11頃)
あつかぜいたる
第三十一候 小暑 初候

涼風至(8/7～8/11頃)
すずかぜいたる
第三十七候 立秋 初候

◆ 県民参加の森林づくり 下草刈り(入門)

日 7月11日(土)8:30～15:00、晴れ

場 相模原市鳥屋(個人所有地)

参 42名

財 内海課長、古舘様、鳥海様 看 青木様

スタッフ 相模原市まちみどり公社2名、
津久井森林組合1名

イ L内野⑨、波多野⑨、天野⑨、村井⑨、大塚⑪、
柴⑪、石川⑫、大原⑬、松石⑬、研 斎藤⑬

8:40 小田急線本厚木駅での受付を終了し、2台のバスに分乗して現地に出発した。

朝から、梅雨明けを思わせる様な強い太陽が照りつけていて、今日の作業は熱中症に十分注意が必要と感じられた。約一時間で現地の宮ヶ瀬湖畔の鳥居原園地に到着した。公園でのオリエンテーションでは、財団の鳥海さんから今日の作業内容の説明があり、班毎の人数確認、準備体操をして現地へ徒歩で移動(約10分)。

10:00 ヘルメット、カマ、土嚢袋の道具類を受け取って作業開始。今日の作業場所は、5月に広葉樹を植栽したところで、全員でカマを使うほどの草は生えていない、ただ、石やガレキが多いのでそれを取り除くことを同時に行うこととした。初参加の人と下刈りが初めての人が草刈り作業、他の人は石の除去整理、と分かれて作業した。草丈は低く、初心者にも慣れて貰うには適当な場所であった。また、石の整理は重量運搬であり、腰痛に注意する様に、との声掛けがあちこちで聞こえる様な作業であった。猛暑の中、全員が無事に約一時間の作業を終了した。鳥居原園地に戻り各自昼食。

午後はボランティア団体との交流会へ参加のため、バスで宮ヶ瀬やまなみセンターへ移動。

相模原市で森林保全の活動をしているボランティア3団体の紹介プレゼンテーションに参加した。

①NPO 緑のダム北相模、②NPO 森づくりフォーラム
③NPO 自游クラブ)、

3団体とも独自のコンセプトをもって熱心に活動をされていると感じた。発表の後、参加者の中からの質問等も多くあり、活発な交流会であった。

14:00 バスで小田急線本厚木駅に向けて出発。

15:00 駅前で解散。

(記 松石 藤夫 13期)

◆ TRIbank 森林再生パートナー活動(下草刈り)

日 7月11日(土)8:30～10:30、晴れ

場 南足柄市塚原ボランティアフィールド

参 13名(うち女性3名)

イ L小沢⑨

TRIfbank(神奈川信用金庫、さがみ信用金庫、ひらつか信用金庫)合計13名の参加、予定の時刻より早く到着、幹事の香取様(ひらつか信用金庫)の進行でオリエンテーション開始、3年ぶりの活動参加との事で皆様やる気満々看板を後ろにして活動前の記念写真、道具を装着していざ下刈りへケヤキの植栽エリアで作業開始。個々に下刈作業の様子をチェックしながら指導を行う。梅雨の中休みの急な暑さの中、水分に配慮しながら1時間余りで作業終了皆さん良い汗をかき、やり切った思いで満足の様子。

スタート地点に戻りシャープナーで大鎌の手入れをして、ひらつか信用金庫の横溝部長様の感想を頂き来年度も森林活動にいらして頂ける事を約束をして帰宅の途につかれた。

(記 小沢 章男 9期)

◆ 富士通株式会社神奈川支社 枝打ちと森林癒し体験

日 7月11日(土)10:00～15:30、晴れ時々曇り

場 塚原ボランティアフィールド「はじまりの森」&
やどりき水源林

参 20名(大人18名+子ども2名)

スタッフ 下崎部長、瀬戸様

イ L福島⑪、若林⑦、草野⑧、山下⑪、吉田⑪

梅雨明けかと思わせるほどの真夏日の1日だったが、午後は時折雲も見せてくれ、暑さもやわらぐ水源林の森だった。到着後写真撮影を済ませ、日陰を選んで全体での挨拶、双方の顔合わせ、森林保全活動の意義、枝打ち作業の注意事項と水分補給等の安全管理の説明を行い、準備体操を行った。用具を整え現地に向かい、枝は

地際からのびて足場確保の大変なところもあったが、枝が密集してうす暗かった林内が明るくなり、作業の成果を実感できた。怪我もなく予定通りに作業を終えた。午後はやどりき水源林に移動して、午前中の作業の疲れを癒してもらおうと、今回初めて森林癒し体験を取り入れていただいた。3グループずつプログラムを入れ替えて移動の途中では、森林の香りの癒し効果を体験していただいた。延寿の森での樹冠のゆらぎを見ながらの伸身安息、緑のグラデーションを見ながらの深呼吸、森の中のハンモック体験とゆったりと水源の森に身をゆだねてくださった。最後に2人のちびっ子の活躍によりスイカ割りで親睦を深め、アットホームな雰囲気ですべての活動を終了することができた。参加者の明日への活力が今回の活動で得られ、今後の活動につなげていけたらと願っている。

(記 山下剛史 11期)

◆ 県民参加の森林づくり入門コース (下刈り)

日 7月19日(日)8:30~14:30、晴れ
場 小田原市いこいの森(小田原市所有林久野)
参 26名
財 内海課長、鳥海様、**看** 小林様
スタッフ 小田原市職員1名、小田原市森林組合2名
イ L西出⑫、柏倉④、滝澤⑤、武者⑦、松山⑩、松永⑪、松本⑪、溝田⑬、藤代⑬、**研** 永松⑫

インストラクターは朝7時50分に小田原駅集合。参加者の到着を待ち3台のバスに分乗して現場である小田原市久野へ向かった。

作業現場は、「小田原市ふるさと森づくり」事業で、3年にわたり小田原市の小学生が植樹した「こなら」「くぬぎ」「もみじ」等30種類の広葉樹の育成林。入門コースでしたが下刈り初心者の方は、4名のみで下刈り経験者が多く参加された。炎天下の作業であり、こまめに水分を補給するように心掛けた。また、ハチの巣が2ヶ所程度、発見されたがハチ・ジェットを噴霧して処置を行い、幸い被害は出なかった。

作業現場を振り返ると、植樹された広葉樹よりも背丈が高かった雑草が一掃され、背丈が1mくらいの小さな広葉樹が陽光を十分に浴びる光景に、ボランティアの参加者は「大変満足感を得た」とのことだった。

昼食後に小田原市森林組合職員、佐久間様による「県産材に関する森林講和」を30分間ほど受けた。

また、大山製材の大山様による「原木製材に関する森林講和と作業見学」を1時間ほど受けた実際に60年生以上の杉1本を製材機で製材するという迫力ある実演を見学し、帰路に着いた。

(記 藤代 光洋 13期)

◆ 小田原市森林組合『森林散策と昆虫採集!』

日 7月24日(金)9:00~11:30、晴れ
場 小田原市いこいの森
参 27名(子供12名:全員男の子、大人15名)
主催 小田原市森林組合
スタッフ 小田原市森林組合 村山様
イ L高橋③、佐藤⑬、小川⑬

下見日は台風11号の影響で7/22に変更になったが、森林組合の村山様とインストラクターで打ち合わせと下見を行った。

当日は、天候に恵まれて両親や祖父母に付き添われた元気な男の子たちが虫取り網や虫かごを持ち期待に胸を膨らませて小田原いこいの森に集まった。

活動の前に村山様から昆虫の数にたいするクイズがあり、世界中で95万種の昆虫が生息しているとのことであった。その後、スズメバチ、まむし、ツタウルシ、熱中症、等の注意を説明し、4班に分かれて出発をした。

クスギの広場では、樹木や根元周辺で目を虫眼鏡のようにして探したが、カナブンが多く、楽しみにしていたカブトムシやクワガタが少なかった。樹木の幹に傷をつけたり、根元を掘ったりした心無い盗掘者の痕跡が目立ちマナーの悪さに心が痛んだ。

しかし、事前に取り付けたバナナトラップ(罠)に入っていたカブトムシやクワガタを子供達がじゃんけんでゲットし、嬉しそうに虫かごに入れていた。

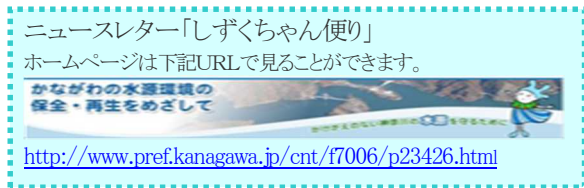
森のなかを移動中には植物の説明をし、鳥の鳴き声に耳を傾けた。木材チップ堆積場でカブトムシ幼虫採集、ホダ木に眠るクワガタムシの幼虫を大切に「家で育てます」と持ち帰る参加者もいた。

最後に昆虫を採集できなかった子供には村山様が事前採集されていたカブトムシやクワガタをプレゼントするという心配りをされていた。

夏休みのひと時、子供たちは昆虫や小さな植物たちに接し命の大切さを感じ、大人たちは忘れかけていた何かを思い出すきっかけになれば嬉しいと思う。

怪我もなく満足そうな笑顔で帰路につかれていたのが印象的であった。

(記 小川 和恵 13期)



◆ 神奈川県水道記念館主催の

水源林保全体験活動 竹林整備とクラフト

日 7月24日(土) 8:30~16:00、晴れ

場 県立21世紀の森

参 大人12名 子供15名(公募当選者)

スタッフ 記念館山口所長他2名、

21世紀の森辰巳副所長他1名、

イ L小野⑦、島岡③、山崎⑦、白畑⑦

参加者27名とスタッフ、インストラクターの32名にてバスは定刻前に海老名駅前を出発、渋滞無く10時前には現着。直行のインストラクター2名も合流して21世紀の森関係者とも協議の後開始式を行い自己紹介や諸注意実施後用具を装着して現地へ。現場は3月に会で整備したマタケ展示林内の径路の整備で今年の新竹の除伐と枝払い、集積である。新竹で小径且つ柔らかいので小学生の子供さんも特に危険もなく作業が出来た。

約45分間の作業終了後は清掃と収納で午前の作業は終了。

午後は室内にて桧間伐材を利用したの箸作り、職員のご指導により多分初体験のカンナ掛けに苦戦しつつも世界に一つのマイ箸完成、次は柿渋使用のハシ袋、乾きにくく多少時間も超過したが参加者一同ユニークな絵文字の袋が出来た。14時頃より猛烈な雷雨で帰路はバスまでダッシュとなったが海老名駅周辺は夏の太陽、全員無事故で雷雨時には室内・・・と天気も味方した一日でした。

(記 小野 幸広 7期)

◆ タカナシ乳業株式会社 パートナー林活動

日 7月25日(土) 9:00~12:40、晴れ

場 やどりき水源林

参 従業員と家族 28名(大人21名、子供7名)

県 鈴木様 増田様

イ L宮下⑩、若林⑦、谷津⑦、真貝⑪、福島⑪

活動は緑のダムによる水源涵養の話でスタート。植物のあるダムと無いダムの水の流れに皆が注目。植物の無いダムの水の流れに、なるほどと感心が集まった。

林内整備は枯損木の処分、枯れ枝の整理、石でせせらぎの渡しを整備する3作業。

水に入っの作業は子供たちには好評で、一番楽しかったとの感想もあった。枝を使って水の流れる音を聞く体験、かわいらしい水の音色とリズムの不思議な世界後半はハンモック、ハーブティー味覚体験とメモ立て作り。ハンモック体験では心地よいゆらゆら感に「おうちにほしい」の声も。木陰にイスを置き、『森の中のカフェ』をオープン。風を感じながらのハーブティーはほっとした一息の時間を提供。丸太にどんぐりやマツぼっくりでデコレーションしたメモ立ては、森林に思いをはせるアイテムとなることでしょう。子供たちは夏休みの工作が終わったと喜んでいました。

熱中症やヤマビル被害もなく、無事活動を終えることができました。善意の募金もしていただき、短時間ではありましたが充実した活動となりました。

(記 若林 良子 7期)

◆ 株式会社荏原製作所

「水と空気と環境の森」森林活動

日 7月25日(土) 10時~16時 晴れ

場 やどりき水源林

参 (株)荏原製作所 総務室 総務グループ長 兼 社会貢献グループ長 薄 様、
総務室 社会貢献グループ 関 様
他社員とご家族 77名(大人38名・子供39名)

県 鈴木様、増田様

イ (丸太筋工) L佐藤⑤、伊藤⑦、西出⑫
(自然観察、水生生物観察) L宮本④、村井⑨、谷川⑪
(草木染め) L白畑⑦、大塚⑪、赤崎⑫、星野⑬、

～ 丸太筋工 ～

丸太筋工とは、傾斜地の斜面と平行に数本の杭を打って山側に横木(丸太)を数段重ねた土留めです。土砂の流出防止と共に、土砂の堆積によって植生の育成にも効果があります。今回の作業は、やどりき水源林内の倉庫側から周遊歩道Bを登って、沢を渡る手前の経路で行いました。杭や横木に使う丸太は、近くで春に準備した間伐材を使用しました。丸太筋工は参加者全員が初めての

経験で、2班に分かれて、リーダーの指導の下、作業を開始しました。まず細目の丸太から90cmの杭を6本、太目の丸太から2mの横木を6本準備して、杭の一端を鋸で尖らせました。次に、70cm間隔で打つ3本の杭が横木と接するようにするため、斜面に平行に2m幅で棒を立てて糸を張り、位置を確かめながら杭を打ちました。次に2mの横木を置いて、番線を使って杭と横木を独特の締め方で縛ります。これを3回繰り返して3段の丸太筋工が完成しました。12時を少し回りましたが、2班で各1か所の丸太筋工を完成させ、出来栄を愛でながら記念撮影をしました。作業開始直後はヤマビルが気になりましたが、駆除する内にいなくなり、けが人もなく作業は無事に終了しました。

(記 西出 健一 12期)

～ 草木染め ～

多湿の空気漂う会場の草を刈り整えた頃、自然と草木染を楽しみに来場者が見え始めました。午前中は染に使う葉を集めに出かけ、午後に煮出した染液により、ハンカチを染めていきます。自然観察をしながら、染に使う葉を採取しました。染に使ったのはアブラチャン、カツラ、ヒノキ、コアカソです。ヒノキは木の皮を、他の樹種は葉と茎を鍋に入れて染液を作ります。ハンカチに、ビーズや板を括り付けて模様の下地を作りました。煮だした染液に「せーの」で息を合わせて、一班分6枚のハンカチを入れます。一度に入れないと、均等に染材がすべてのハンカチにいきわたらないのです。媒染に、チタンを使うと黄や橙の鮮やかな色に、銅を使うと落ち着いた風合いの茶色に、鉄を使うと渋みのグレーに。それぞれオリジナルの柄に染めあがりました。

(記 星野 澄佳 13期)

◆ 株式会社日立システムズ

水生生物生態観察会と木工クラフト体験

日 7月25日(土)9:00～15:00、晴れ

場 やどりき水源林

参 99名(大人56名+子ども43名)

スタッフ (株)日立システムズ

CSR 副本部長伊藤様、部長代理鈴木様

県 鈴木様、増田様

イ L 森本⑤、米本②、齋藤⑥、渡部⑦、山崎⑦、

草野⑧、高橋⑨、山下⑩

いよいよ梅雨も明け、子どもたちは待ちに待った夏休みに突入し、他パートナー活動も重なり、嬉々とした子どもたちの歓声の響く水源の森であった。各リーダー同士の調整が円滑になされ無事に活動ができた。開会式では、双方の顔合わせ、水源の森づくり事業と水源林の水と水生生物の環境について理解を深め、水分補給等の安全管理の説明を行い活動に入った。午前中は、水生生物観察と木工クラフトを交互に体験できるように調整した。前夜の雨で増水しており、アッチガオ沢とその下の支流で行った。ヒルの心配もあったが、サワガニ、カジカ、カジカガエルも観察でき、ビンゴはほぼ完成できた。クラフトはドングリクラフト、ウグイス笛、ロケットラワン、木工製玩具の昔遊びと多彩な活動を楽しんでもらった。午後は、広場での、昔遊び・丸太切り、林道自然観察、今回初めて取り入れていただいた森林癒し体験を行った。樹冠のゆらぎの安息、クロモジの香り、ハンモック体験を中心に親子でくつろいでもらった。次回は、もう少し時間を取っていただきのんびりと癒しの効果を味わってもらいたいと願っている。プロのカメラマンも同行しており、思い出のスナップ写真が楽しみな1日であった。

(記 山下剛史 11期)

◆ 神奈川県法人会連合会 ヤビツ下草刈り

日 7月25日(土)10:00～13:00、晴れ

場 秦野市寺山 ヤビツ峠「法人会の森」

参 333名

県 星様 看 小林様

スタッフ 法人会連合会 事務局長-金森様

イ L 小沢⑨、渡辺③、柏倉④、永野⑥、

小野⑦、有坂⑧、齋藤⑧、松本⑧、

水口⑨、後藤⑩、東一郎⑫、澤村⑫、

大原⑬、藺田⑬、小川⑬、長尾⑬、焼尾⑬、北村⑬

台風12号の影響で発達した高気圧で猛暑である。倉庫前の広場に、17班の地区毎に老若男女が大集合し、10:30 から式典が始まった。法人会連合会の荻原会長よりご挨拶があった。「ここ迄十数年かかりました。本日でこの活動は終了です。最後まで事故や怪我の無いよう気を付けて下さい。今の現地をじっくり見て、帰りに再度見て成果を確認しましょう」斜面を見ると育った広葉樹の合間に高い背丈の萱類が青々と伸びている。次いで小沢 L が「熱中症と蜂や蛇に注意」の安全目標と作業前のストレ

ツチを行った。その後インストラクターの先導下白い安全帽を被って長鎌を手には地区毎の作業場に向かった。猛暑の昼前なので休憩、水分補給に気を付けて作業は進む。二名の方が軽い熱中症(テントで横になり団扇と冷たい飲物で体力回復)になったが、約一時間の下草刈りを終え元気に広場へ戻って来た。汗を拭き拭き刈り上げた斜面を眺めて自慢顔、彼方此方でインストラクターを囲み斜面を背にグループ写真。鎌研ぎと錆止め噴霧、ヘルメットの回収と終了間際のザワザワだが、下草刈りで様子の良い斜面は夏の陽で眩しい。参加証明書授与が始まり、正午過ぎにグループ毎に賑やかに下山を始めた。皆満足した面持ちであった。

(記 北村 貢 13 期)

◆ ガールスカウト 第9団

自然観察～森を知ろう！森を楽しもう!!～

日 7月26日(日)、晴れ

場 小田原市いこいの森

参 27名(大人5名、子供25名)

スタッフ 5名

イ L 赤崎⑫、大塚⑪

9時半に管理棟付近に集まり、2班に分かれて自然観察とネイチャーゲームをしました。

ブラウニー(2～3 学年)班は、散策でセミ脱け殻やアリジゴク(蟻地獄)の観察や、ネイチャーゲームで遊びながら動植物の暮らし方を学びました。ジュニア(四年生以上)班は、林道散策ではユリや山椒の実を見つけたり、生き物ビンゴと、葉っぱのジャンケンゲームをしました。

後半は全員参加の「コウモリとガ」ゲーム、夜行性のコウモリと蛾(餌)に分かれた目隠し鬼ごっこで盛り上がりしました。11 時半からバーベキューを行いました。

参加者は年齢差がありましたが協力し合い、ガールスカウトらしい団結力がある良い活動でした。

(記 大塚 晴子 11 期)

◆ 川崎市立西梶ヶ谷小学校「森林講話」活動

日 7月26日(日) 8:35～8:50、晴れ

場 神奈川県川崎市高津区西梶ヶ谷小学校

参 児童 112 名、保護者 112 名

イ L 加藤⑫

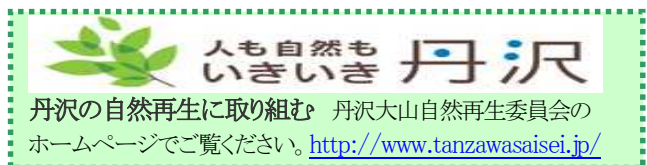
夏休み親子と子の工作教室の一環として、「森林講話」を

一年生から六年生の小学生とその保護者の方にお話をいたしました。短い時間、小学生の理解力の格差、真夏のためからくる集中力不足を考慮して下記内容で構成いたしました。

1.アイスブレイク 2.木の漢字クイズ 3.木にまつわる話(①校庭のケヤキの木を例にして二酸化炭素の吸収と蓄積量、そして地球温暖化 ②翼を持った種の数種の飛ばし実演) 4.森にまつわる話(①今の森と江戸時代の絵師、歌川広重の描いた東海道五十三次の風景との比較、木の用途 ②緑のダム…森をスポンジに見立て雨を霧吹きとし実演を行った。

その後、水をためる、きれいな水を作る、土砂くずれの防止、森は海の恋人…漁師さんが山に木を植えている)の説明を行い、最後に、「木が三本あれば森」です家庭にも森を作りましょうと訴えました。もっとしゃべりたいことが山ほどあったのですが持ち時間の関係で、集合写真撮影に移り役割をしめました。

(記 加藤 久雄 12 期)



◆ 川崎市立富士見台小学校

夏休み親子工作教室連絡協議会

日 7月26日(日)9:00～11:00、晴れ

場 川崎市立富士見台小学校

参 280名(大人150名、子供130名)

イ L 小沢⑨

PTA部会長松本様の司会によりPTA会長西田様のご挨拶、インストラクターより本日の工作に絡む木と水について山の話をして頂き、参加者全員で山の掛け声、ヤッホーの大合唱！本日の厚さを吹き飛ばす元気でした。土建組合の菊池様による諸注意事項の伝達後、各工作教室(3組)に分かれました。

① モザイクタイル—タイルをハンマーで割りそのカケラを接着材で板に張り付け図案を作る。

② 銅版細工—銅版の上にマジックで下絵を描き、線の外側を釘でたたき、表札や壁掛け等を作成

③ 竹細工及び木工—水鉄砲や本箱等の作成
親子ともども協同作業の姿が皆さん真剣でした。

(記 小沢 章男 9期)

◆ 日揮株式会社 パートナー林活動

水棲生物観察と自然観察

日 7月26日(日)9:30~14:30、晴れ

場 やどりき水源林

参 6名(日揮(株)坂井課長、佐々木様ご一家5人)

イ L谷川⑩、村井⑨、

20人の参加予定が大幅に減りましたが、その分家庭的な雰囲気観ができて良かったと思います。暑くないうちに午前には自然観察、午後は涼しい水棲生物観察にし、クラフトのどんぐり工作は坂井課長の粋な計らいで子供たちに参加賞としてプレゼントさせて頂きました。

出発前に昭文社発行の丹沢の地図でやどりき水源林の丹沢における位置、水源林を取り巻く山々、そして、最高峰の鍋割山を紹介した。カツラの甘い香りに送られながら観察コースは林道終点まで歩き、寄沢に直接触れてもらう。長女ちゃんは野鳥に関心あり。長男のお兄ちゃんには中3年で小学生の頃、お父さんと登った表尾根の思い出を語ってくれた。末っ子くんは幼稚園生？ルーペで覗いたり五感を使つての観察をする。祠付近でヤマビルを発見、お兄ちゃんのイメージはもっと大きいな生物と想っていたらしい。カラスアゲハ、アオスジアゲハ、アカタテハやヒグラシも観察、ムササビの巣穴の観察をして午前には終わり、午後は寄沢本流で試みたが流れが速すぎて、カジカガエルしか採れず、谷川リーダーと佐々木さん一家のお父さんと子供達で「タカナシの森」へ移動。

カジカガエル(オタマジャクシ)、沢ガニ、ガガンボの幼虫、ヒラタカゲロウ、モンカゲロウ、カワゲラ、トビゲラ、サナエトンボのヤゴ、ヘビトンボ、ガガンボ、ヒラタドROMシ、ナミウズムシ、たくさん収穫があり、末っ子くんが最後まで水棲生物と別れを惜しんでいるのが印象的でした。

(記 村井 正孝 9期)

◆ 大和市役所 夏休み親子環境教室

日 7月31日(金)13:00~14:00、晴れ

場 県立21世紀の森 金太郎広場~運動広場~
どんぐりコース~(ふれあいセンター)~駐車場

参 22名(11名 + 大和市職員5名、
環境を良くしよう会役員6名)

イ L 杉崎⑩

参加者は小学3年~6年生(6名)、その保護者(5名)と、市職員(5名)役員(6名)の合計22名。

午前中は寄自然休養村で水生生物調査を行い、バスで21世紀の森に移動し昼食後13時~14時までの約1時間の自然観察会でした。

金太郎広場で足柄平野や相模湾を見下ろし、ここ21世紀の森の位置や環境、大和市の水道水の半分を担う酒匂川系の水源の一部であることなどを知ってもらう。

子供たちは海から山、山から海へなど水の移動や緑のダムなどもよく理解している優秀な生徒達です。

フイトンチッドについて知っている生徒もいて、木の葉の匂いや、木の実を割って中身の観察、動物の食痕、植物(自然)と人との関わり(昔の子供の遊びや生活など)など1時間と短い時間でしたが、暑さにも負けず元気いっぱい五感を使つての体験環境教室でした。

(記 杉崎 恒三 10期)

◆ 県民参加の森林づくり(下刈り)

日 8月1日(土)7:50~13:50、晴れ

場 秦野市 堀山下 全国植樹祭植栽地

参 68名

財 鳥海様、靱山様、 看 小林様

スタッフ 秦野市 中村課長様、黒田課長代理様、
道具運搬:県森連・石鍋様

イ L森本⑤、佐藤⑤、永野⑥、辻村⑨、
大橋⑩、吉田⑩、澤村⑫、
大原⑬、斉藤⑬、前田⑬、溝田⑬

今年が最後となるらしい全国植樹祭植栽地での下刈り。秦野市との共催で開催。猛暑日だけに、終わったあとの達成感格別のものがあつた。

事故・ヒヤリハットなし。熱中症なし。ハチ刺され4・ヒル1・シャープナー不注意1で終了。

今年もリーダーを拝命したが、評価反省箇所も多かった。次回、改善したい。

・受付時の案内の不手際(見回り不足)/当日の安全目標の徹底不足

・トランシーバーの電源オンやシャープナー携行の指示もれ/多めの飲料水確保・カマが良くきれた、とのお褒めの言葉も/緑の募金も寄付頂きました。

(記 森本 正信 5期)

◆ 県立21世紀の森

森づくり～竹林隊②(竹林整備と流しそうめん)

日 8月2日(日)10.00～14.30、晴れ

場 神奈川県立21世紀の森

参 30名(大人14名、子供16名)

スタッフ 足柄グリーンサービス (21世紀の森統括責任者 志鷹様、管理運営責任者 辰巳様)

イ L山崎⑦ 小沢⑨

10時より研修室に於いて辰巳様の司会により志鷹様の挨拶、インストラクターの紹介、諸注意がありヘルメット、竹用ノコ、子供には剪定バサミを装着しいざ真竹展示林へ竹林の中も高温注意報が発令されている環境です。大人の人が真竹を倒し子供が鋏で枝を落とす協同作業、熱中症に注意を配り水分の補給と休憩を取りながら皆さん汗びしょり！楽しく親子で作業をされていました。展示室に戻り森のでき方等を解りやすく説明。

午後は皆さんお待ちかねの流しそうめん、午前中から21世紀の方々に準備を整えて頂き2本の流しが整いました。汁と薬味、箸を持ちそうめんが流れてくるのを上手に掴み美味しそうに笑みを浮かべながらの食事タイムでした。最後のメニューは竹細工により一輪挿しの作成、鉋、竹用ノコ、ハンマー等を使用し家族に一個のお土産としてお持ち帰り、本日のまとめのアンケートを提出して頂き無事終了しました。

(記 小沢 章男 9期)

◆ 自治労神奈川本部 下草刈り

日 8月5日(水)10:00～12:00、晴れ

場 秦野市寺山 ヤビツ峠

参 39人

財 豊丸様、鳥海様、靱山様

イ 小沢⑨、小野⑦、斎藤⑧、西出⑫、大塚⑪

開会式の挨拶後、4班に分かれて作業しました。作業場は腰丈のカヤなどが茂り、足場の悪い傾斜地の下刈作業は大変ですが、今年19年目となる自治労の環境(水源)保全活動ともなると、短時間ながら参加者は順調に作業していました。感想を聞くと「6年前は小さかった植栽木が大きく成長していた」と、整備の手応えもあったようです。水週間に合わせた活動では、「水のありがたさを切に感じられた」良い活動となりました。

(記 大塚 晴子 11期)

◆ 青春の旅主催の森林ボランティア活動

日 8月9日(日)8:40～14:30、晴れ

場 南足柄市県立21世紀の森

参 24名(大人17名、子供7名)

スタッフ 宇久田代表・高橋氏他・21世紀の森辰巳副所長

イ L小野⑦、高橋③、渡辺③

参加者が24名と当初の予定45名から約半数になったが、中学野球部の有志の参加で元気一杯の活動が期待された。当日は午前中に竹林の整備、午後は竹細工を予定して10時40分より作業開始。径路上及び周辺の新竹と倒伏状の竹の整理を進め作業終了前に工作用の竹を確保して昼食。午後は各自工作に没頭、インストラクター持参の見本やお手伝いも受けながら、野球部諸君は素振りバット他の方々は菜箸、食事用什器、花器、水鉄砲等に挑戦、定刻には皆さん自信作のお土産を手に笑顔で帰途についた。当日は作業場所の選定から工作ヤード設営等、事前準備が多岐に亘ったが当日及び翌日の電話にて感謝の言葉を頂き喜んで頂いた事が何よりでした。また参加者一同ケガや盛夏の活動にも拘わらず熱中症等の事故もなく無事帰宅されたとのこと報告が何物にも代え難いお言葉でした。

(記 小野 幸広 7期)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付 (できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者&人数

県 神奈川県 環境農政局 水・緑部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字:期)  研修枠 (以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

やどりき水源林 ミニガイド

9月のトピックス

山椒の実も緑から赤に色づき始めました



(9/5 撮影 赤崎さほり)

10月の水源林

やどりきも秋の気配が、絶好の森林のシーズン到来です。川もまだ入れます。赤トンボ等昆虫も森の案内人と一緒にお待ちしています。

「森の案内人」情報

●実施時間: 毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集 合: 水源林入口ゲート前

●内 容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ: (公財)かながわトラスト

みどり財団 TEL: 045-412-2255

FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

●E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内



『やどりきの森へ行こう!』

新松田駅北口8:30集合。イベント当日は、水源林ゲート前までバスを利用!
(バス代各自負担: 片道620円) ☆=所要時間目安

11月28日(土)

【もうすぐ冬! 紅葉&動物の痕跡探し】

“リンドウ”咲き誇る「薬野峠」林道”には様々な動物の痕跡が。また、スギ・ヒノキ林の幾何学模様や紅葉のパッチワークは必見! どんな痕跡が見つかるかな?

☆=4時間 申込締切...11月12日(木) 定員50名(抽選)

【内容についての問い合わせ先】

かながわトラストみどり財団 (左ページ参照)

【「やどりきの森へいこう」の申込先】

NPO法人 かながわ森林インストラクターの会

〒243-0014 厚木市旭町1-8-14 グリーン会館

E-mail k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

希望するイベント日時、参加者全員のお名前、

住所、電話番号を記入の上、往復ハガキ、

又はE-mailにてお申し込みください。

締切後、抽選結果ならびに詳細をお送りいたします。

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保 (Eメールアドレス変更)

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保 (Eメールアドレス変更)

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【別冊はCCも】福島 正治 (新事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区萱仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受け付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★久しぶりに風邪をひきました。抵抗力が落ちていて、驚きました。いいチャンスだと思って体調管理に努めます。

(赤崎)

★我が家のベランダで育てている「椿」に小さい蕾が8個もつきました!! 10年ぶりなんです。どんなお花が咲くか楽しみが増えました。

(小川)

★関東大震災から90年の今年は、震災用の備蓄グッズの見直しをしています。家がつぶれるのは仕方がないとしても、焼失しないよう対策をしました。

(蘭田)

★SWは渋滞を極端に避け、庭の草引きに専念しました。草引きも今では趣味となっています。

(水口)

★千葉でキョンが大繁殖しているそうです。昔「がきデカ(こまわり君)」という漫画があり「八丈島のキョン」というフレーズがありました。今度は鳥のフラミンゴで有名だった行川アイランドが倒産し飼っていたキョンを放置した結果増えたそうです。似た例は和歌山の台湾と日本の猿の混血問題。鎌倉、三浦半島の台湾リス等です。

(松本)

◇ 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保

広報部: 水口俊則 徳岡達郎

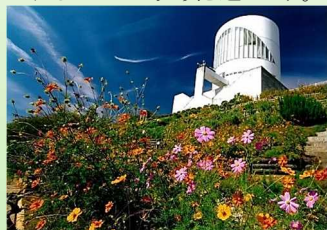
大塚晴子 赤崎さほり

小池 哉 小川和恵 蘭田栄哉

支援 伊藤恭造

2015 秋のハーブフェスティバル

松田山ハーブガーデンでは年に2回(春と秋)ハーブフェスティバルを開催しています。秋(10月)開催のハーブフェスティバルは「セージまつり」とも呼ばれ、肉料理やお茶などに使われるセージが見頃を迎えます。



(松田町 松田山秋のハーブフェスティバル(セージまつり))

<https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/kankou-sub/autumn-herb-fes.html>

開催期間 10月10日(土)～25日(日)

開園時間 9時～17時

場所 松田山ハーブガーデン

連絡先: 電話: 0465-85-1177

(松田山ハーブガーデンHP)

<http://www.seibu-la.co.jp/matsudayama-hg/>